

# 生涯にわたって、健康や運動に主体的に関わり続けていく資質・能力の育成

## 視点① 主体的に取り組むことができるめあての設定

生活経験から課題を見つけめあてを設定



必要感の生まれるルールや作戦



事前アンケートや前時の振り返りからめあてを設定



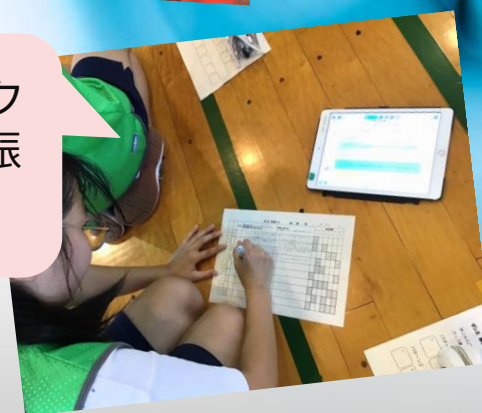
- 課題を自分事としてとらえられるように工夫したことで、学習意欲が高まった。
- 単元の最終的なゴールを最初に示すことで、授業ごとのめあてに対する意識の向上と学習意欲につながった。

## 視点② 「わかる」「できる」につながる振り返り

振り返りの時間を確保する過程の工夫



ルーブリックを活用した振り返り



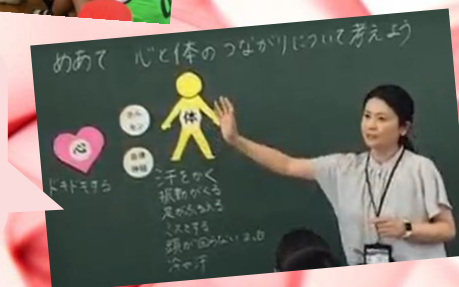
- 生徒の実態に合わせたルーブリックを活用することで、授業ごとの達成度が明確になった。
- 振り返り活動の積み重ねにより、自己の変容に気付き自信をつける生徒が増えた。

## 視点③ 考えを広げ、深める対話

合意形成を図りながらルール作り



養護教諭の専門性を生かして対話を広げ深める



対話する必然性のある活動



- 子供たちにとって必要感のある話題を設定することで対話が生まれ、考えを深めることができた。
- 対話する余裕のある活動時間を設定した学習過程と、対話する必然性のあるグループづくりで、対話の技能や意欲の向上につながった。